



得々ニ情報

大和木材株式会社

〒891-11

日置郡郡山町郡山1466番地

TEL ; 099-298-2288(代)

FAX ; 099-298-2290

第 3 号

1996年 10月 1日

…健康を考えるなら、木造が一番！…

近年、建築物はいろいろな材料を利用して多様化してきました。住宅は本来、私たちの身体の安全を守るために発達してきました。日本の気候・風土に適し、私たちの健康を守ってくれるのは、どういう住宅でしょうか。

静岡大学で行われたハツカネズミを使った実験（木製、金属製、コンクリート製の巣箱での生存率、成長率および繁殖試験）結果から次のことが言えます。

生存率

	温暖期(5~7月)	寒冷期(10~12月)
木製	85.1%	4.1%
金属製	41.0%	5日目で全滅
コンクリート製	6.9%	3日目で全滅

生後23日までの生存率で暑熱期(7~9月)はほとんど変わりませんでした。

成長率；木製と金属製・コンクリート製の巣箱のハツカネズミの乳仔の体重変化と臓器重量を比較すると木製の巣箱の乳仔が一番大きく、コンクリート製の巣箱の乳仔が小さいでした。臓器重量で最も大きな差が出たのは、卵巣や子宮などの生殖器官でした。

繁殖試験；温暖期から暑熱期は妊娠率・産仔数ともほとんど同じであったが、寒冷期になると妊娠率はそれぞれ低下し、産仔数はコンクリート製が著しく低下した。平均体重は木製が他の二つより明らかに大きいでした。

これらの実験から、対象とした材質の中で木質材料が最も優れた居住性を持っていることが認められました。ハツカネズミは肌で木の良さを感じとっていたのでしょう。

また、生存率の試験のなかで母ネズミの哺育行動にも大きな影響があることが確認されました。小・中学校における「いじめ問題」にも関係するのではないかと興味もたれます。

※商品情報

市場の品不足が続き、製品の価格が高騰しています。

新規注文の場合は価格と納期をお問い合わせ下さい。

(お問い合わせは、お客様サービス係の森園まで)

